

学会プログラム

第1会場「講義室3・4・5」

9:00～9:10

■開会式

9:20～9:50

■評議員会

10:00～11:30

■シンポジウム1「救急医療の危機に対する備え」

座長／福岡県医師会 横倉 義典
久留米広域消防本部 権藤 明夫

S1-01 福岡市における救急搬送困難事案の現状と課題解決に向けた方策について

福岡市消防局 野上 大佑

S1-02 救急医療の危機に備える～2次救急医療機関として

福岡青洲会病院 救急災害センター 安田 光宏

S1-03 地域における救急医療体制の現状と課題 ―三次医療機関としての立場から―

聖マリア病院 救命救急センター 古賀 仁士

S1-04 地域の救急医療体制を支える当院の取り組み～下り搬送の活用と課題～

独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 統括診療部 前川 志帆

S1-05 福岡県の救急医療体制について

福岡県保健医療介護部 医療指導課 有川 智樹

S1-06 これからの地域の救急医療提供体制をどのように維持していけるのか

福岡県医師会 横倉 義典

11:30～11:40

■総会

11:50～12:50

■ランチョンセミナー1

共催：フクダ電子西部北販売株式会社

座長／産業医科大学医学部 救急・集中治療医学 教授 尾崎 将之

自衛隊衛生における危機への備え

自衛隊福岡病院 病院長 陸将補 菊池 勇一

13 : 00～14 : 30

■救急隊員部会セミナー

座長／柳川市消防本部 山田 孝文

救急隊版エマージェンシー臨床推論 救急脳のつくり方

鹿児島大学 救急・集中治療医学分野 非常勤講師 望月 礼子

14 : 40～15 : 40

■特別講演

座長／久留米大学病院 災害危機管理担当教授 山下 典雄

災害に対する備え～これまでとこれから～

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局DMA T事務局 事務局 次長 近藤 久禎

15 : 50～17 : 20

■シンポジウム2「災害に対する備え」

座長／国立病院機構 九州医療センター 広域災害・救命救急センター 野田英一郎

国立病院機構 福岡東医療センター 救命救急センター 宇津 秀晃

S2-01 福岡県の災害医療体制の強化に向けた実践的検討

～令和7年度福岡県総合防災訓練を通じて～

福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター 久城 正紀

S2-02 災害看護の最前線―激甚災害における実践と地域連携の新たなかたち

国際医療福祉大学福岡保健医療学部 看護学科 三橋 睦子

S2-03 福岡県における災害医療体制について

福岡県保健医療介護部 医療指導課 深江 隆史

S2-04 緊急消防援助隊に新たに創設された救急特別編成部隊について

北九州市消防局 田中 耕平

S2-05 「第4師団における災害派遣活動の概要について」

自衛隊第4 柴垣 実 中央師団司令部第3 部防衛班 坂田 政文

S2-06 災害という危機への備え

新小文字病院 薬剤科 辻本 朗

17 : 35～

■表彰式・閉会式

第2会場「講義室1」

9 : 45～10 : 35

■一般演題「病院前救護・救急搬送1」

座長／福岡市消防局 権藤 貴士

コメンテーター／福岡赤十字病院 救急科 弓削 理絵

A-01 くも膜下出血と一次性頭痛の鑑別に有用な因子の検討

久留米広域消防本部 松本 大輝

A-02 救急隊による現場での検温結果と病院搬入後における医療機関での検温結果の差異について

行橋市消防本部 落知 和俊

A-03 インタビュートレーニングについて

糸島市消防本部 中島 竜太

A-04 児童虐待の危機介入に向けて

北九州市消防局 山内 康司

A-05 心肺機能停止前の重度傷病者に対する輸液について

北九州市消防局 竹下 一哉

10 : 40～11 : 30

■一般演題「病院前救護・救急搬送2」

座長／北九州市消防局 柳内 透

コメンテーター／北九州市立八幡病院 救命救急センター 井上 征雄

A-06 救急隊への暴行を受けて～課題と今後の展望～

福岡市消防局 片平 素晴

A-07 2次医療機関との連携強化について

筑後市消防本部 中井 公典

A-08 僻地におけるドクターヘリとの連携について

甘木・朝倉消防本部 大里 繁行

A-09 高齢者施設での円滑な救急搬送を目的とした医師会との取り組みについて

筑紫野太宰府消防組合消防本部 川邊 剛聖

A-10 小児の急病で出動し一般負傷であった症例

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 清水 康平

11 : 50～12 : 50

■ランチョンセミナー2

共催：旭化成ファーマ株式会社

座長／久留米大学医学部 救急医学講座 講師 鍋田 雅和

敗血症および熱中症におけるDICの病態と治療

山口大学大学院医学系研究科 救急医学講座 准教授 藤田 基

13 : 15~14 : 15

■一般演題「内因性疾患」

座長／社会医療法人天神会 新古賀病院 救急科 宇治 祥隆
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 内科・救急科 富永 尚樹

A-11 非外傷性腹直筋血腫の1例

福岡赤十字病院 救急科 平木優一郎

A-12 救命できなかった、両側の気腫性腎盂腎炎を経験して～治療介入時期を主体に～

済生会福岡総合病院 臨床教育部 則尾 悠

A-13 多発脳出血で発症した可逆性後頭葉白質脳症の一例

福岡市民病院 脳神経外科 今村 佳樹

A-14 週1回投与型インスリンイコデクによる低血糖発作の2症例

聖マリア病院 長谷川稔起

A-15 脳卒中疑いにて救急搬送され糖尿病性舞踏病の診断となった1症例

独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 救急科 小林 敦人

A-16 肝芽腫破裂による出血性ショックに対して、ダメージコントロール手術を行い
救命し得た1例

九州大学病院 救命救急センター 野中 裕文

15 : 45~16 : 35

■一般演題「病院前救護・救急搬送3」

座長／粕屋南部消防本部 八尋 健作
コメンテーター 福岡青洲会病院 救急災害センター 安田 光宏

A-17 ラリングルチューブ挿入の不成功理由の解析と対策

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 塩川 真吾

A-18 救急救命士2名体制が病院前救護体制に及ぼす効果

飯塚地区消防本部 堤 将文

A-19 「救助・有毒ガス事故」で出動した農薬による有機リン中毒症例

福岡市消防局 執行 将人

A-20 スイスチーズモデルを活用したストレッチャーの事故防止策

福岡市消防局 甲斐 清治

A-21 覚醒剤中毒によるCPA事案について

北九州市消防局 小野 磨終

16 : 40~17 : 30

■一般演題「地域救急医療体制」

座長／九州大学医学研究院 救急医学講座 赤星朋比古
済生会福岡総合病院 救命救急センター 則尾 弘文

A-22 産科救急の搬送増加に伴う救急看護師の対応体制強化と標準化の実践

久留米大学病院 看護部 真子 敬史

A-23 福岡県ドクターヘリの現状と現着前要請に関する検討

久留米大学病院 高度救命救急センター 金苗 幹典

A-24 当センターの外傷診療体制の課題克服にむけた取り組みと今後の展望

福岡大学病院 救命救急センター 藤田 晃浩

A-25 病院救急救命士が運用する病院救急車の活動報告と今後の展望

飯塚市立病院 救急部 村井 亮太

A-26 有事への備えとして福岡県の救急医療機関が避けては通れない課題について考える

防衛医科大学校病院 救急部 梶山 翼

第3会場「講義室2」

9 : 30～11 : 30

■看護部会研修会

座長／九州大学病院 救命救急センター	桑田 睦子
国立病院機構 九州医療センター 救命救急センター・ICU	石山 亜耶

「特定看護師 10 年目の検証～期待と現実のギャップ、そして未来への展望」

国立病院機構 福岡東医療センター 呼吸器内科部長（看護師特定行為研修指導者）	山下 崇史
久留米大学病院 看護師長（クリティカルケア認定看護師）	杉島 覚
済生会福岡総合病院 特定行為看護室 看護係長（クリティカルケア認定看護師）	末永 司

13 : 00～13 : 40

■一般演題「外傷・外因性疾患」

座長／福岡大学病院 救急治療センター	喜多村泰輔
福岡赤十字病院 救急科	友尻 茂樹

- B-01 異なる転帰をたどった腐食性物質摂取の三例
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 比嘉祐一郎
- B-02 若年者の非外傷性椎体骨折の2例
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 救急センター 初田郁之介
- B-03 肝穿通をきたし腹腔鏡下での摘出を要した金属針の誤飲の1例
聖マリア病院 救急科 重松 雄介
- B-04 根治的治療のために転院搬送となった不安定型骨盤骨折2症例の病院滞在時間の比較検討
独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 救急科 柴垣 実央

13 : 45～14 : 35

■一般演題「病態・診断」

座長／救急救命九州研修所	田口 健蔵
久留米大学病院 高度救命救急センター	大塚 麻樹

- B-05 診断に苦慮した Wallenberg 症候群の1例
福岡赤十字病院 救急科 登尾 愛梨
- B-06 胆道感染症による心電図変化の検討
北九州市立八幡病院 救急科 室屋 大輔
- B-07 在宅患者/末期癌患者でも見抜くべき急性疾患～救急出身の在宅医が主導する在-病連携～
にのさかクリニック ニノ坂建史
- B-08 経皮的心肺補助装置 (Percutaneous cardiopulmonary support ; PCPS) 下において心室細動 (Ventricular fibrillation ; VF) 中の心収縮様運動を透視観察し得た一症例
新小文字病院 内科 太田 新星

B-09 救急搬送時に Hb が 2.2g/dL であったが循環動態が安定していた症例

新小文字病院 内科 浅尾 公貴

15 : 45～16 : 45

■一般演題「チーム医療」

座長／福岡徳洲会病院 救急科 鈴木 裕之
久留米大学病院 医療安全管理部 合原 則隆

B-10 福岡大学病院における病院救急救命士の業務と今後の展望

福岡大学病院 救急治療センター 阿部 雅治

B-11 今年度、当院に新設した病院救命士の現状と今後の課題について

済生会福岡総合病院 医療技術部 救急医療支援室 納富 一則

B-12 診療看護師卒後救急科研修での学び

独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 診療部 築地 早希

B-13 多職種介入による経口挿管患者の口腔潰瘍予防の有効性

宗像水光会総合病院 嶋村 雅美

B-14 救急外来に搬送された患者家族のニーズと外来看護師の看護実践の違いを明らかにする

飯塚市立病院 看護部 鎌田 優子

B-15 はじめて脳死下臓器提供対応の経験より、患者家族の意思に沿った対応について

～院内移植コーディネーターの活動の実際～

福岡赤十字病院 研井 礼子

16 : 50～17 : 30

■一般演題「予防救急」

座長／飯塚地区消防本部 藤春 翔
コメンテーター 飯塚病院 鮎川 勝彦

B-16 管内老人保健施設及び介護老人保健施設との予防救急への取り組みについて

宗像地区消防本部 田中 択実

B-17 災害に対する予防救急について

八女消防本部 池田 大夢

B-18 プッシュ型応急手当講習

北九州市消防局 野口 修幸

B-19 50 代からのフレイル予防の必要性について

飯塚地区消防本部 利光 和也